

第一幼稚園の認定こども園化に向けた保護者説明会 説明会要旨

日 時	令和4年10月6日 午前9時00分～10時30分
場 所	第一幼稚園 遊戯室
出席者	<b>【保護者】</b> 第一幼稚園保護者32名 <b>【小牧市】</b> こども未来部：鍛冶屋部長、川尻次長 幼児教育・保育課：野田課長、近藤指導保育士、鈴木指導保育士、川副係長、岩瀬主事 第一幼稚園：小川園長
配付資料	資料1 認定こども園化に向けたこれまでの経緯と建設の必要性について 資料2 事業概要 資料3、資料4 事前の質問の回答と意見について

主な内容

<p><b>1 あいさつ</b> 鍛冶屋部長よりあいさつ</p> <p><b>2 議題</b>            (1) 認定こども園化に向けたこれまでの経緯と建設の必要性について            (2) 事業概要            (3) 事前質問の回答と意見について            野田課長より、資料をもとに、第一幼稚園を認定こども園へ移行することにした経緯や、認定こども園について、今後のスケジュール等を説明。</p> <p><b>3 質疑</b>            Q1. 年少の保護者。自分の子どもを仮園舎に通わせたくないが、城見公園で園外保育を行うことも検討している、と事前質問の回答に書いてある。城見公園は園児が隠れられるような茂みが多く、蚊などの虫も多く、トイレも洋式でないと思う。公園の整備はしてもらえるのか。            A1. 城見公園のほか朝日公園も近くにある。仮園舎の場所が現在の候補地に決まり、近くの公園を活用することになったら、当課から公園管理者に、改修とまでは言わないが、樹木の剪定などの手入れについて申し伝える。</p> <p>Q2. 年長の保護者。子どもが4人いて、全員第一幼稚園に通っている。平成28年度から29年度のこども園化の説明会にも出席した。資料にもあるとおり、保護者からの反対意見もあり、一旦保留となったことを記憶している。そのような経緯の中、今回、認定こども園化がいきなり「決定事項」として説明をされたことに驚いている。当時、園児が120名ほど在園していて、降園時に駐車場が混雑していた。計画では定員の規模が220人から240人程度と、当時の2倍近い</p>
--

が、駐車場についてはどのように考えているか。

A 2. 認定こども園として整備する必要性は先ほど説明したとおり、市全体の保育環境の整備として適正配置を検討する中、大山保育園を統合する形で、こちらの敷地内に建設することとした。定員は、平成28、29年度当時の在園児に比べ倍になり、駐車場の確保については、認定こども園ということで登降園の時間について、集中する時間はあると思うが、例えば18時から18時30頃にお迎えに来られる保護者もいて、今のように14時から14時30分に一斉に降園のお迎えに来るといふことにはならないという想定をしている。現在、みなみ保育園という定員規模が230名程度の保育園が小牧市の北外山地内にある。みなみ保育園の駐車場は約20台。敷地面積は異なるが、計画上同規模であり、施設も同規模になると想定している。駐車場の台数・規模については、今後の基本構想・基本計画、その後の設計業務の中で適正に確保したい。

Q 3. 年長の保護者。預かり保育を利用する。第一幼稚園には延長というシステムがない。約束の時間に迎えに来るつもりだが、仕事の都合などにより間に合わないと焦ったりストレスを感じたりする。お金を払えば解決できるような延長保育のシステムの導入を検討してほしい。

A 3. 現在の第一幼稚園の預かり保育は16時30分までとなっており、保育園では、18時30分までが通常の保育時間となる。園によっては、30分間延長し、19時までの保育時間としている施設もある。延長保育の料金は、分刻みではなく、一律の金額をいただいている。認定こども園化した場合でも、預かり保育は継続予定のため、認定こども園という新しい仕組みの中で、どのようにするか検討したい。

Q 4. 年少の保護者。仮園舎の候補地がアンケートとともに配られた際、大半の年少組の保護者は仮園舎候補地の現地を見に行った。フェンスが低いので、もっと高くして、子どもが外に出ていけないよう、また、外から人が入りこめないよう不審者対策をしっかりとって欲しい。

A 4. 仮園舎候補地の敷地は、現在は草等が生えているが、仮園舎となった場合には整備する。今のフェンスは高さ120cm程であるため、安全上、今よりも高いフェンス等を検討している。安全配慮については十分に対応したい。

Q 5. 年少の保護者。開園を1年先送りにするか検討するとのことだが、検討結果によりこちらの考え方も変わる。検討の結果はいつ教えてもらえるのか、はっきり聞きたい。

A 5. 1年先送りについて視野に入れて検討する前提で説明したため、令和8年度、令和9年度のふたつを想定している。在園児への配慮とは別に、新年度入園する児童の都合もあるので、今日、このあと市長と協議をし、早ければ明日のお迎え、遅くとも連休明けの朝にはお伝えする。

Q 6. 年少の保護者。再度説明会は開かれるのか。今日は突然の開催だったので、都

合が見つからない保護者もいたと思う。次回、説明会を開催する時はどのように実施するのか。

A 6. 園だよりでお知らせ後、すぐに説明会の案内をしたこともあり、急なお願いであったと思っている。本日参加の方については、資料を配布し、対面でお話をできたが、欠席された方にはお迎えの時に資料を配布する。次回の説明会は未定のため、必要に応じて開催を予定している。その場合については、今回よりもスケジュールに余裕をもって案内したい。

Q 7. 年少の保護者。本来、入園前にこの話を聞きたかった。近所の方に幼稚園（認定こども園）になると聞いて、自分は知らなかったのでショックだった。仮園舎の園庭について、上の子どもが南小学校で工事を目の当たりにしている。校庭がせまくストレスを感じたため、広い園庭を希望する。子どもたちにストレスがかからないように進めて欲しい。在園児が卒業してからの工事を希望する。

A 7. 入園前にお伝えできていなかったことについては、反省している。市の内部では検討していたが、未成熟な情報で具体的に示すことができず決定を踏まえてお知らせをしたということもあり、今の時期になってしまった。ご指摘のように、事前に検討を進めているという確定ではないものの、何かしらの情報を出すべきだったと反省している。南小学校の改築の事例も含めて園庭や整備について、教育委員会に聞きつつ、整備の方法や仮園舎での過ごし方、新しく規模が大きくなっても園庭が十分に確保でき、ストレスのない園生活が送れるように検討する。

Q 8. 年長の保護者。下の子どもが令和5年4月から入園を検討している。こども園の開園スケジュールが、令和8年から令和9年に変わるかもしれない。今の年少のことを考えるとその方が良いと思うが、そうすると来年の4月から入園する子は年長から仮園舎に入ることになり、卒園も仮園舎になってしまうことが心配で、例えば令和10年度から開園することは可能なのか。

A 8. 在園児に配慮する形で1年先送りにし、令和9年4月という案を示した。1年先送りにすることで、令和5年度以降に入園をする子どもについては影響が出てくる。資料2で示したように、令和5年度の入園になると、令和7年度に解体工事が始まることから、仮園舎ということになる。令和10年とか先の計画にすることでこれから入園を考えられる保護者の皆様にはご検討いただく猶予となるかと思うが、市内の保育環境の整備やこの建物の建て替えについては、緊急性の高い事業であるため、工事と開園の先送りは1年が限度であると考えている。今後入園を希望される方については、丁寧な説明をさせていただく。

Q 9. 年中の保護者。下の子どもが令和6年度の入園になるが、令和5年9月の時点で仮園舎の園生活を事前に教えてもらえるのか。基本構想・基本計画を策定する中で保護者の代表の方1名に就任を依頼とあるが、質問の中でプールや運動会とか遊具の配置や野菜づくり体験などは、実施できるけど検討が必要だと回答されている。今の保護者の意見を聞く場はあるのか。

A 9. 令和5年度以降の入園願書配布について、令和5年度はすでに願書の配布が進んでいるので、この後可能な限り本日提示したものなど、お示しできることに

いては説明して入園の手続きを行いたい。令和6年度以降については、その時々で出せる情報が変わってくると思うが、あらかじめ伝えることのできる情報を準備して、願書の配布、説明を行う。また、基本構想・基本計画の委員の就任については、第一幼稚園の保護者から1人と思っていたが、2人で確認しあいながら意見が言えるということも考え、2人の就任をお願いしたいと考えている。検討委員会の中で出た意見を基本構想・基本計画の中に反映し、その内容を保護者へどうフィードバックするのかがこれからの課題として考えている。代表の方2人の私見ではなくて、他の保護者の意見を代弁したりする場にもなりえると思う。委員の就任については園長を通じて依頼をさせていただく。

Q10. 年中、下の子どもが令和5年入園予定。願書を9月1日に取りにきたが、その時にも仮園舎の話はなかった。9月の中日新聞で情報を知った。事前回答で本年6月に計画があると書いてあるのに、願書配布時に何もなかったことについて、納得がいかない。決まっていないことが多くて、不安がいっぱいである。本来の筋としては、1年先送りではなくて、決まっている状態で願書を受け取り入園の検討をしたかった。本来の筋では2年先送りだと思う。

駐車場について、現在28台であるが、仮園舎では14台。あふれかえってしまうことはないか。目の前の道路に並んでしまうことも考えられるが他に駐車場のスペースを確保することは考えているか。

明日にでも1年先送りを決めるとのことであるが、何を基準に決めるのか。今多数決で決めるのか。

A10. 新聞報道については財源を確保するために記者発表をしたことで新聞報道が先行し、その後、役員の皆様にお話をし、保護者の皆様には園だよりを通してお知らせをし、本日の説明会となった。9月1日の願書配布時にお話ができなかったことは、言われるとおりに私立の幼稚園も含めて願書受付が10月というタイミングで、遅くなったこと、配慮が足らなかったことを反省している。

駐車場の台数としては今よりも少ないレイアウトであり、園庭の広さと駐車場のスペースについては、限られた敷地の中でどうバランスをとるのが肝になる。駐車場台数を広くとれば、その分園庭を狭めることになる。本日はひとつの案としてお示しをしているが、これ以外にも国の基準を満たしながらの案があるかもしれないし、園庭と駐車場のバランスを見ながら整理していきたい。

開園時期の決定方法については、多数決ではなく、事前にいただいたご意見や今日の質問等の様子を持ち帰り、協議をする中で決定する。事前にいただいた意見や質問で、「事前に説明がなかったこと」「仮園舎については、在園児では年少にだけ影響がある」「工事を1年先送りして欲しい」との声があり、1年先送りを視野に入れ、今日説明会を開催した。事前にいただいた意見と今日の質疑応答を含めて検討する。

Q11. 年少の保護者。1年先送りにして、卒園を今の園舎でしたいと思う。下にも子どもがいて令和6年度の入園となるので、仮園舎で給食を提供することはあるか。仮園舎になることでのメリットがあるとよいと思う。帰りにちょっと遊ばせてもらう園庭について、駐車場もせまく、園庭もせまくなるので園庭開放がなくなっ

てしまうのか。

A11. 仮園舎での園生活となっても第一幼稚園の教育目標や機能をこの場所ではない所で行うもので、給食の提供は考えていない。園庭開放についてはこのレイアウト案では園庭の面積は約650㎡から700㎡で、今は平地となっている。どういった遊具を設置するのかということも考えているが、遊具を置くと自由に動き回れる場所がせまくなることも想定されるので、園庭開放についても実施することは可能だと思うが、まずはレイアウト、遊具の設置等を見て安全性を確保した上で実施していきたい。

Q12. 年少の保護者、令和6年度の入園予定。1年延期になると2年間仮園舎になるが、第一幼稚園を選ぶにあたり、教育内容、園庭の広さや環境にほれ込んだ。仮園舎の園庭のイメージがつかない。丸々2年間、仮園舎ですごさないといけないのか。もし早く工事が終われば早く新しい園舎、園庭に移動することは可能なのか。

A12. 仮園舎の園庭は今の半分程度のイメージとなる。今の園庭は広く使いやすい、仮園舎では今までと同じようにはいかない。今は解体を含めて2年間の工事期間を想定している。建物が建ってから認可の手続きを行うために、一定の期間が必要となるため、3月ぎりぎりまで建築工事をしているわけではない。ご要望として卒園を迎える園児については、年中、年長の時に仮園舎となるため、一刻も早い建物での園生活を望んでいるということを調整したい。

- ・皆様のご意向は一旦持ち帰り、再度、市長へ報告の上、開園時期の判断をし、できれば明日、遅くとも連休明けに皆様にお返事する旨を報告した。
- ・第一幼稚園の認定こども園化に向けた計画、事業は、保護者の皆様のご理解をいただきながら進めていく考えである。皆様のご理解とご協力をいただくようお願い申し上げます。